

佐野弁ばんざい

Returns

「佐野弁ばんざい」とは...

「佐野弁ばんざい」は、広報さので平成19年4月号から令和5年3月号までの16年間、掲載してきた連載コーナーです。

このコーナーは、市内在住の方言研究者、森下喜一氏が執筆し、昔から佐野市内で使われてきた言葉や方言を、市民の皆さんに伝え続けてくださいました。

今回は、森下先生から佐野弁について詳しくお話を伺い、特集としてお届けします。

INTERVIEW

森下先生、広報さので長年に渡り連載をいただき、ありがとうございます。今回は、いろいろとお話を聞かせていただきました。まず、連載を終えていかがでしたか。

佐野弁ばんざいの連載を始めて16年、あつという間、といった感じでした。

方言は言葉です。言葉は基本的に音声だから、記録に残さないと失われてしまいます。

広報さのに「佐野弁ばんざい」を連載し、それを書きたため、一冊の本にして後世に残すことができました。

文章にしたためることで、百年後、二百年後の人も佐野弁について知ることができるのではないのでしょうか。

未来に佐野弁を残すことができ、よかったと思っています。

執筆するに当たり、どのようなことにこだわりましたか。

方言を辞書的に解説しただけではつまらないので、必ず日常会話文を盛り込みました。方言の意味は分かっているけど、その使い方は難しいからです。

日常会話文は、易しいようで難しいから実際に方言を使っている人にしかできないと思います。





森下 喜一 morishita kiichi

佐野市仙波町在住

昭和9年生まれ（89歳）

平成19年4月から令和5年3月まで市民記者として
広報さので「佐野弁ばんざい」を連載

佐野弁とはどのような方言なのでしょうか。

まず、近いところであろうと群馬県と栃木県では、言葉の違いがいろいろありまして、まずその違いの一つにアクセントがあります。

群馬県は東京に近いアクセントですが、栃木県は高い音節と低い音節が分らない、いわゆる無アクセントです。

その中でも佐野のアクセントは全国でも珍しく、曖昧です。東京に近いアクセントができる人もいれば、できない人もいます。

例えば「キル」という言葉は、着物を「着る」のか、包丁で「切る」のか、「カキ」という言葉は木になる「柿」なのか、海でとれる「牡蠣」なのか、その判断が佐野の人は非常に難しく感じます。すぐに出てこなく、あれ？ 高いのはどっちだったっけかな？ なんて、考え込むんですよ。

一度考えて「あ、これだ」と思っ
て、どっちが高いか低いかを思い
出すんですね。ちよつと考えてか
らアクセントが出てくる、これが
佐野に住む人のアクセントの特徴
ですね。

一方、群馬県の人は、考えずに
すぐ出てきます。

栃木県で考えずに高低のアクセントが分かるのは、足利市の他に佐野で1カ所あります。どこだと思えますか？

それは飛駒です。飛駒の方はアクセントの高い低いは、すぐ分かりますよ。

飛駒だけというのはおもしろいですね。アクセントの他にも何か特徴はありますか。

アクセントの他にも、音声や語彙、イントネーションなど、いろいろありますよ。

佐野弁には、関東弁以外にも東北弁も入っているし、特徴的といえば、関東弁と東北弁の間ですかね。

中間といっても、佐野弁は東北弁より関東弁の方がずっと強いですね。

佐野弁はもともと東北弁に近かったんですよ。関東弁が押し寄せてきて、宇都宮辺りまでいったわけです。だから宇都宮より北は東北弁に通じる方言がたくさん残っています。

佐野弁はどういう方言かということを一言で表すことは難しいですが、関東弁に東北弁が混じっているような感じですね。

佐野弁の特徴

佐野弁は、宇都宮市周辺の東北的方言と足利市周辺の西関東方言にはさまれて、その双方からの影響を受けた独特な方言といえます。

ハソンスル

コワイ

クサル

ダイジ

方言はどこなところに面白みがありますか。

そうですね。きょう、あした、あさって。その次は何と言いますか。

しあさって？ やなつって？

どちらも使いますよね。

今日を1日目と数えるか、明日を1日目と数えるかで、もし今日を1日目とすると「しあさって」は4日後となります。

一方、明日を1日目とすると「あした、あさって、やなつって、しあさって」と数え、今日から5日後となってしまう。これは、どちらも正しい。

すると、その地域の方言によって「しあさって」は1日ずれてしまう。昔「しあさって会おう」と約束して、恋人同士が会えずにもめてしまう映画がありました。

こんなふうには、数字をもとにした方言も多いですね。

先生が好きな佐野弁には、どんな言葉がありますか。

好きというか、非常に特徴的なものがありますね。「ハソンスル」って方言かな？「ハソンスル」っていうのは普通「壊す」ということですが、佐野弁でいう「ハソンスル」は「修繕する」という意味です。靴底が減って直すことや鍋に穴が開い

て直すことも「ハソンスル」と言いました。

「ハソン」を書くときの漢字は、あの「破損」ですか？

その漢字が基だと思えますが、方言の場合には、語源が分からないので使うための漢字は使いません。ですから、そのようなときには全てカタカナで表記しています。

そこで皆さんに聞きたいのですが、修繕することをなぜ「ハソンスル」と言ったと思いますか。

修繕をする前には、破損するからですか？

そうですね。実は語源は着物と深い関係があります。着物が汚れたら、その着物をほぐしてから洗濯するからです。

着物は、大きくて重いものですが、そのままでは洗えません。着物は糸をほぐして全部バラバラにして、それを一つ一つ洗濯し、張板に干します。そして乾いたものを元通りに縫い直します。一度壊してから元通りにすることから「ハソンスル」と言います。方言を調べると、語源的なものが、だんだん分かってきますよ。

それから雨などに濡れることを「クサル」と言いましたが、大正生まれのおばあちゃんくらいまでは使っ

ていましたね。物には濡れると腐るものと、腐らないものがありますよね。石とか岩、金物など腐らないものには「クサル」とは言わないんですよ。

一つ一つの言葉で使い分けていたということですか。

本人たちは意識して使ってたわけじゃないんですよ。ところで、髪の毛はどうでしょう？

どっちですかね……。髪の毛はめつたなことでは腐らないので「クサル」とは言わないのではないのでしょうか。

実は髪の毛もお年寄りには「クサル」と言いました。こういうことは、昔の人から聞かないと分からないですね。

髪が濡れると「髪がクサツチャツタ」と言っていましたよ。びしょ濡れなんて最近の言葉です。それもすっかり濡れちゃったという場合には、昔は「ゼーンテクサツチャツタ」と言ったんです。すっかりということとは「ゼーンテ（ゼンテ）」と書いていました。

それから今でも使う方がいますが、疲れたことを「コワイ」って言います。これはだいたい広い地域で使われているので、多くの方が知っていますね。「コワイ」とは普通恐ろし



いという意味ですが、なぜ疲れたことをコワイと言うか分かりますか？

肩が凝ったりすると筋肉がこわばるということですか？ 確か先生の佐野弁ばんざいで読んだ気がします。

そうですね。運動すると筋肉が固くなってこわばりますよね。ですから疲れたときは「コワイ」と言います。昔は山に登ったり、山で働いたり、田んぼで働いたりするので筋肉が硬直するんですよ。

恐ろしいといった意味では使いませんでした。「コワイ」という言葉は更になまって「コエー」とも言いました。

今はあまり使わなくなりませんが、子守りすることを「オトモリ」と言いましたね。

では、なぜ子守りを「オトモリ」と言ったと思いますか？

確かにオトモリすると言いますね。えー……。なんでだろう。

「オト」というのは弟とか妹という意味で「乙」という字を当てています。「乙」という言葉は2番目ということ、年下の子という意味です。その子を守ることから「オトモリ」と言うようになりました。これは最近まで使っていましたね。

それから最近では、なんとか「ジャン」と言いますね。

すごく使いますね！ 今ではたくさんの方が使っていると思います。

「ジャン」というのは新しい方言として、つまり新方言として使われています。

発祥は横浜方面といわれていますが、それよりずっと西の方で使われています。それが東京に伝わり、東京を中心に広がっていききました。

先生に伺いたいのですが、佐野の人が大丈夫のことを「ダイジ」と言いますよね。

よその人からは「ダイジって何が？」と言われるのですが「ダイジ」も佐野弁でよろしいですか。



ダイジは佐野でも使っています。大丈夫がなまったもので、栃木県でもかなり広い地域で使われています。大丈夫が「ダイジブ」、それがさらに縮まって「ダイジ」と、変化しました。

「じつかりやれ」ということを「ミシミシテやれ」と言うのも方言なんですか。

これも方言ですね。「ミシミル」は身に染みることです。この辺は特に盛んですね。

方言に魅せられて

16年間、森下先生に連載していただきましたが、森下先生ご自身のことについては、ほとんど記載がありませんでした。連載の末尾には「市民記者 森下喜一」とあるだけで、どのような方なのか興味をお持ちの読者も多かったことと思います。そこで、森下先生の生い立ちから学者としての歩みなどについてお伺いしました。

森下先生が通っていた小学校は地元
の常盤小学校だったのでしょか？

私は、小学校は出ていないんです
よ。ほんとに。

??(まさか、天才で飛び級か?)

私が過ごした6年間(昭和16年4
月~昭和22年3月)は「小学校」を「国
民学校」と呼んでいた時代だったん
です。私が入学する前、卒業した後
は小学校だったのに、私が在学中の
6年間は国民学校だったんです。

その後、常盤中学校、佐野高校と
進学しました。大学に行きたかった
のですが、当時は大学に行く人など
あまりいなかったし、戦争なども
あつて貧しかったので、親は「こん
な状況で大学へ行くなんて恥ずか
しい」と言っていました。

9人きょうだいで男は2人でし
た。私は次男だったのですが、兄が
戦死し、親は跡継ぎとして期待して
いたのです。

父は私に大学に行かないよう言い
きかせていました。

すごい時代ですね。

高校卒業後、受験費用や学費に充
てるため、1年間、村役場に就職し
ました。大学受験のときの願書など
も、家に取り寄せると親に分かつて
しまうので、友人宅に届くよう手配
したんですよ。

そこまでして大学に。

そうですね。そして國學院大学に
進学しました。大学入学後も家庭教
師をして、学費を稼ぎました。もと
もと活動的な性格だったので新聞記
者になりたかったのですが、これと
いった理由もなく、諦めました。大
学在学中には方言の研究者になりた
かったのですが、大学院進学も親が
許してくれなくて、苦勞しました。

その後、國學院の大学院に進学し
てからは、方言学で著名な平山輝男
先生に師事し、新鮮でやりがいのある
方言学という学問の世界に入るこ
とになりました。平山先生からは、
学問に対する厳しさを教えてもらい
ました。

学問は厳しいけれど、新しい発見が
あつて楽しいと?

國學院大学栃木高等学校の先生を
経て、岩手医科大学助教授、作新学
院大学教授、鳥取大学・同大学院等
の教授となつて方言学や国語学を教
えました。

方言学をより深く研究するにつ
れ、方言学の広さや方言と地域文化
との結びつきなども分かるようにな
ります。佐野という地域社会の生活
や文化なども見えてきますよ。

このように、方言を研究すること
は日本の文化を知る新しい研究分野
といつてもいいでしょう。

研究 Research

方言の研究はどのように行われるのか

さて、先生は方言の専門家ですが、
方言の研究というものがどのような
ものか、どのように行うのか、ピン
とこない人が多いと思います。

そこで、その辺についてもお聞かせ
ください。方言というのは、具体的
にどのような方法で研究するものな
のでしょうか。

方言の研究は、現地調査が基本で
す。なぞなぞ方式によって行います。
客観的に立証できなくてはならな
いので、多くのサンプルが必要で
から事前準備が大変です。

例えば、松かさ(まつぼっくり)
を何と調べるか調査するとします。そ
のときに「松かさを何と言いますか」
とは言えません。もしそのように聞
くと「この辺ではみんな松かさと言
うよ」と答え、松かさの方言が出て
きませんね。

絵や物を見せることによって方言を
聞き出すことが大切なんですね。

物や絵を見せて「これは何と言
いますか」と聞きます。このように聞
くことによって、松かさの方言を聞
き出すことができます。この聞き方
をなぞなぞ方式と言います。

ただ、名詞は現物や絵を見せれば
いいのですが、抽象的な品詞などを
聞き出すのは、とっても面倒です。
時々とか、たまになどの副詞は聞き
方にとっても苦勞します。

また、住民の中にはよそから移り
住んできた人もいます。そういう人
は、育ってきた環境が違うので、言
葉も言葉づかいも違います。調査の
ときには注意が必要です。

なるほど。調査にはいろいろな困難
が伴いますね。

国立国語研究所という言語研究の
専門機関から全国の方言研究者に調
査依頼が来ることもあります。

『日本言語地図』という方言の地
図があつて、これは一目で分かる動
物や植物などの方言分布図といった
ものです。方言研究者が日本の各地
を歩いて作った方言地図です。この
地図を見ると、言葉の分布が一目瞭
然で、具体的に分かります。



先生が所有する本の中には、歴史ものもあるように見受けられるのですが、そういった研究もされてきたのですか。

方言の研究を行っている、平安時代や室町時代などの音声に違いがあることが分かるんです。現代人が書物から文字を読む音声と、当時の人の音声には違いがあります。実際はそういう音声でなかったということが、方言の研究をしていると分かってきます。

例えば同じ「は」でも発音が違うというのですか。

日本語には、昔の音声をそっくり書く文字が無いんです。室町時代にはキリスト教の布教に宣教師が次々とやって来ました。外国人には日本語が分かりません。そこで、次に来る人のために日本語を教える教科書を作ろうと宣教師は考えたわけです。その教科書は、日本語を独特のローマ字で書いていました。ローマ字というのは都合がよく、日本語の音声がほぼそっくり書き写せるんですね。日本語は文字が50音しかないため、正確な発声の表記ができませんでした。

そういうわけで、当時の発声は外国人の書いた書物によって知ることができます。

昔の書物からそんなことまで分かるなんて、方言は奥が深いですね。

方言というのは、研究している人は真剣ですけど、そうでない人にとっては軽く見られることが多いですよ。「方言やって何になるんですか」と聞かれることはよくあります。それは方言にあまり関心が無いからでしょうね。

関東弁とか関西弁とかいう独特の方言がありますよね。アクセントはだいたい対照的なものが多いんです。雨と飴、切ると着るは、東京と関西とではアクセントに違いがあります。東京では、雨と切るは最初の「ア」と「キ」が高いし、関西ではその反対です。ちよつと皆さんにお聞きしますが、関西の人が東京に転校してきました。関西の人はすぐ東京弁になると思えますか？ それとも周りの人が関西弁になると思えますか？

東京弁にならないと思います。周りの人が関西弁になるかもしれないです。

そのとおりです。周りの人たちは関西弁になる傾向が見られます。

それは関西弁だからですか？ 東京の人が関西に行ったらどうなりますか？

東京の人が若ければ若いほど関西弁になりやすいです。なぜだと思えますか？ その問題ですよ。

それは母音にあるといわれています。関西の人は母音を非常にはっきり発音します。関東の人はその反対に子音をはっきり発音します。例えば「そうです」って言うとき、関東の人の発音は最後の「す」が母音のない「s」に聞こえます。ところが、関西の人は、必ず「そうですう」のように母音をはっきりしています。母音の影響は大きいですね。

研究していけばいくほど、新しいことが分かってきて、またそれが楽しくもあるんですね。ここまで続けられたのは先生の方言への熱意があったこそだと思えます。

今回は、いろいろとお話いただきありがとうございます。最後にこれから先生のように学問を志す方に対してメッセージをいただけますか。



これから学問を志す方へ

研究なんてものは、やってるうちに広がりが出てきます。

これをやらなかったら誰も分からないから研究してみようと思うと、その研究に深さや広がりが出てきます。そんな深さや広がりの中で新しい発見が出てきます。「調べてみようかな」という心構えと探究心が大切です。

やろうと思ったらその道に精通する人を見つけることです。そして積極的に行動することが大切です。

頭の中で考えるだけで行動しない人には、新しいものが見つかりませんよ。

とにかく計画を立ててやる、行動することが大切です。



LAST 佐野弁 ばんざい

森下先生にお願ひし、最後に1回分だけ「佐野弁ばんざい」を書いていただきました。

食事と食べ物に関する方言あれこれ

おかずを「アセモン」といいました

昭和の中頃までは、ご飯のおかずを「アセモン」とか「アセ」といいます。これは「合わせ物」が変化したものです。ひとつの器に数種類の料理が盛り合わされてあるからです。

「麦飯のアセモンが、菜っ葉にココロ（香香）じゃー、食いたくネーよ」

また「ご飯のおかずにする」をアセルといいました。

「この田舎には、わらびやぜんまいの漬物があるから、それを飯にアせて食べたらんメーよ」

おかずはカテともいいますが、普通うどんやそばに添えるゆでた野菜などをいいます。

「そばのカテといたら、ナンテタって（何とって）も）デーコン（大根）ダンバー」

そばの切れ端を「タチツパジ」といいました

そば粉を水でこねて薄くのぼし、それをそば切り包丁で細かく切ります。最後に残ったキレツパジ（切れ端）をタチツパジといました。

麦飯を「カンカンメシ」といいました

昭和の初めごろまでは食糧難だったので、食卓に並ぶ主食はいつも麦飯でした。米に麦を入れた飯も、麦だけの飯も麦飯といいました。米の飯（シロイマンマという）は、農家でも食べられませんでした。麦飯は舌ざわりが悪く、うま味ありませんでした。母親は幼児によく「かみかみ（噛み噛み）して食べるんだよ」といいました。

かみかみ飯の変化したカンカンメシは、幼児語として長く使われました。

森下喜一先生による

読者 PRESENT

抽選で5名様にプレゼント!!

このたび、森下喜一先生が執筆した「佐野弁ばんざい」が書籍になります。これを記念して、読者プレゼント企画として森下先生が書籍「佐野弁ばんざい」を抽選で5名の方にプレゼントしてさせていただきます。応募方法は以下のとおりです。

応募方法

以下の①～④を記載の上、はがきによる郵送または応募フォームから8月31日(木)までに広報ブランド推進課へお申し込みください。
【宛先】〒327-8501 (住所不要) 広報ブランド推進課 宛

- ① 氏名
- ② 住所
- ③ 電話番号
- ④ 今月の特集またはこれまでの「佐野弁ばんざい」の感想

※応募は佐野市在住の方のみとさせていただきます。
※当選は書籍の発送をもって代えさせていただきます。



応募フォーム▲

